

*** 今日の健康 (3月) ***

< 帯状疱疹予防ワクチンの比較 >

2019年まで50歳以上の方を対象に帯状疱疹予防ワクチンとして水痘の生ワクチンの接種が推奨されてきましたが、2020年1月に帯状疱疹に特化した不活化ワクチンが新たに発売されて1年が経過しました。

いずれも水痘にかかったことのある方の帯状疱疹の予防としての効果が認められており、50歳以上の方は接種可能ですので接種をお勧めします。

帯状疱疹の原因は水痘・帯状疱疹ウイルスです。はじめて感染した時は水ぼうそうとして発症します。治った後もウイルスは長い間体内に潜んでおり、普段は免疫力により活動が抑えられています。加齢やストレスなどで免疫力が低下するとウイルスが活動をするようになり帯状疱疹として発症します。ウイルスは神経に沿って移動し皮膚に到達し帯状疱疹を発症します。

帯状疱疹の発症率は50歳代から急に高くなり帯状疱疹患者の約70%が50歳以上です。日本では80歳までに約3人に1人が帯状疱疹になるといわれ、その内約20%の人が帯状疱疹後神経痛になるといわれています。

帯状疱疹を予防するワクチンの比較

	帯状疱疹予防 水痘ワクチン	帯状疱疹予防 シングリックス
ワクチンの種類	生ワクチン	不活化ワクチン
接種回数(接種部位)	1回(皮下注射)	2回(2カ月後に2回目)(筋肉注射) 遅くとも6カ月後までに接種
予防効果	50~60%	90%以上
持続期間	5年程度	9年以上
副反応	接種部位の痛み 腫れ、発赤 3日~1週間で消失	接種部位の痛み 腫れ、発赤 3日~1週間で消失
料金	1回8,833円税込み	2回で44,000円税込み
長所	<ul style="list-style-type: none">・1回で済む・値段が安い	<ul style="list-style-type: none">・免疫が低下している方にも接種できる・予防効果が高い・持続期間が長い
短所	<ul style="list-style-type: none">・免疫が低下している方には接種できない・持続期間が短い	<ul style="list-style-type: none">・痛い(筋肉注射のため)・2回接種が必要・値段が高い